

## ポリカーボネート樹脂ケミカルリサイクルの 世界初の事業化に向けた検討開始について

三菱ケミカルグループ<sup>※1</sup>（以下「当社グループ」）は、ポリカーボネート樹脂（以下「PC樹脂」）ケミカルリサイクルの世界初の事業化に向けて、2030年に年間1万トン規模の処理能力の実現を目指す検討を開始したことをお知らせします。現在福岡事業所に実証設備を建設中で、2023年8月の完工後、同年度中に実証実験を完了し具体的な事業化検討を進める予定です。なお、本実証事業は環境省の「令和4年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」の補助事業として採択されています。

PC樹脂は透明性、耐衝撃性、耐熱性、寸法安定性に優れたエンジニアリングプラスチックで、自動車の内装部品やヘッドランプ、建築資材などに使用されています。現在、使用済みPC樹脂は粉碎・溶融後に成形し直すマテリアルリサイクルによる再資源化が一般的ですが、劣化したものや異なる樹脂が混入していると、十分な品質のリサイクル樹脂を得られないという課題があります。これに対して、使用済みPC樹脂を解重合して原料モノマーに戻し、再び重合するケミカルリサイクルを行うことで、より広い範囲の使用済みPC樹脂を高品質なリサイクルPC樹脂に再生することが可能になります。

当社グループは、ケミカルリサイクル技術の確立のみならず、使用済みPC樹脂のリサイクルシステム構築も目指しており、PC樹脂を製品に使用する企業などとの連携も積極的に進めていく予定です。また当社グループは[2022年2月8日付のお知らせ](#)のとおり、2023年4月3日より高付加価値PC樹脂「XANTAR™（ザンター™）」などの展開を開始し、エンジニアリングプラスチック事業のさらなる強化をはかっています。当社グループはこれからも高付加価値な機能商品を供給するとともに、そのリサイクルシステム構築にも取り組むことでサステナブルな社会の実現に貢献していきます。



PC樹脂のケミカルリサイクル品

※1 三菱ケミカルグループは、三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社の総称です。

ご参考

●2022年8月5日付 環境省発表「令和4年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業（委託・補助）の1次公募結果について」:

[https://www.env.go.jp/press/press\\_00367.html](https://www.env.go.jp/press/press_00367.html)

●2022年2月8日付 三菱ケミカル(株)発表「エンジニアリングプラスチック事業強化に向けた再編に関するお知らせ」: [https://www.m-](https://www.m-chemical.co.jp/news/2022/icsFiles/afieldfile/2022/02/15/meprev.pdf)

[chemical.co.jp/news/2022/icsFiles/afieldfile/2022/02/15/meprev.pdf](https://www.m-chemical.co.jp/news/2022/icsFiles/afieldfile/2022/02/15/meprev.pdf)

以上

お問合せ先

三菱ケミカルグループ株式会社

コーポレートコミュニケーション本部

メディアリレーション部 TEL : 03-6748-7140

担当直通（大黒）：080-2546-1854